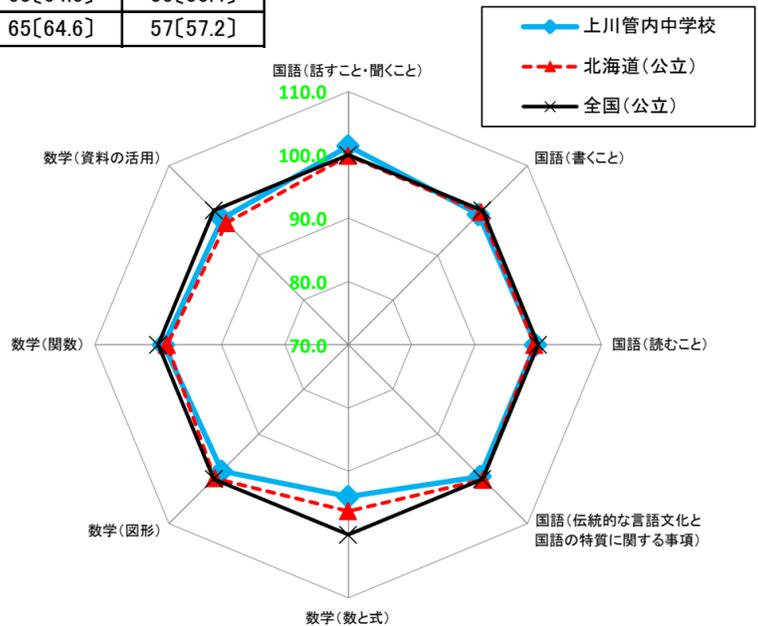
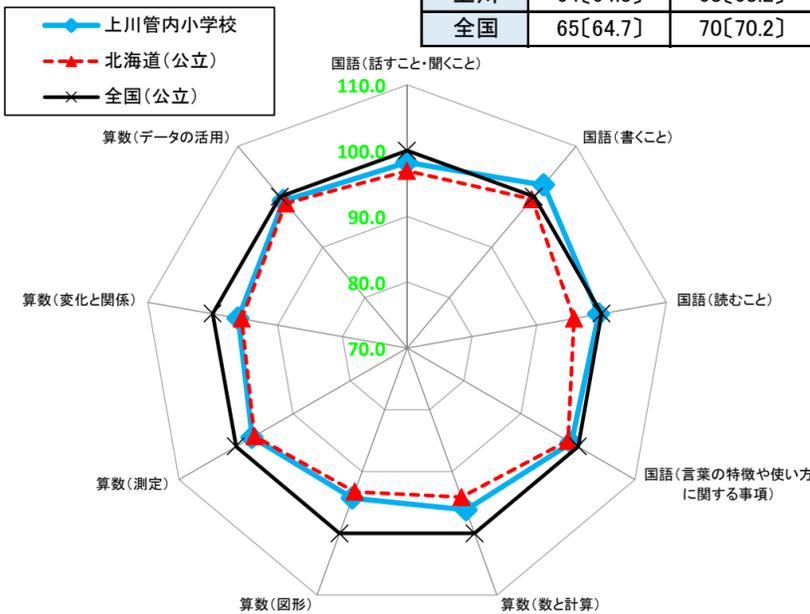


上川の状況及び学力向上策 (小学校数:110校、児童数:3315人)(中学校数:58校、生徒数:3431人)

小学校 【教科全体の状況】

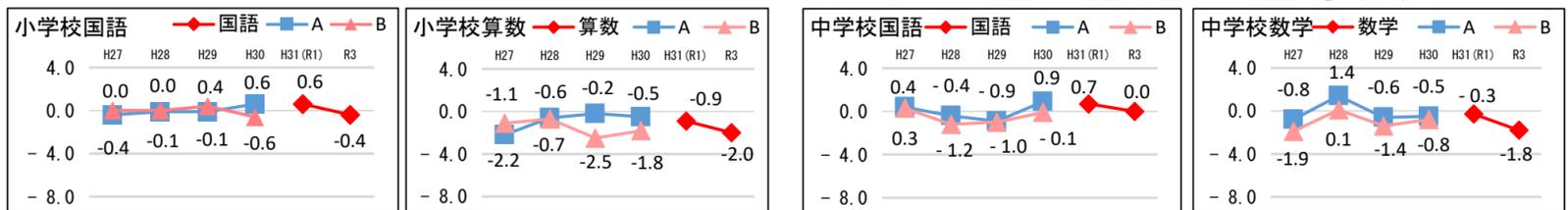
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
上川	64[64.3]	68[68.2]	65[64.6]	55[55.4]
全国	65[64.7]	70[70.2]	65[64.6]	57[57.2]

中学校



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの(管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

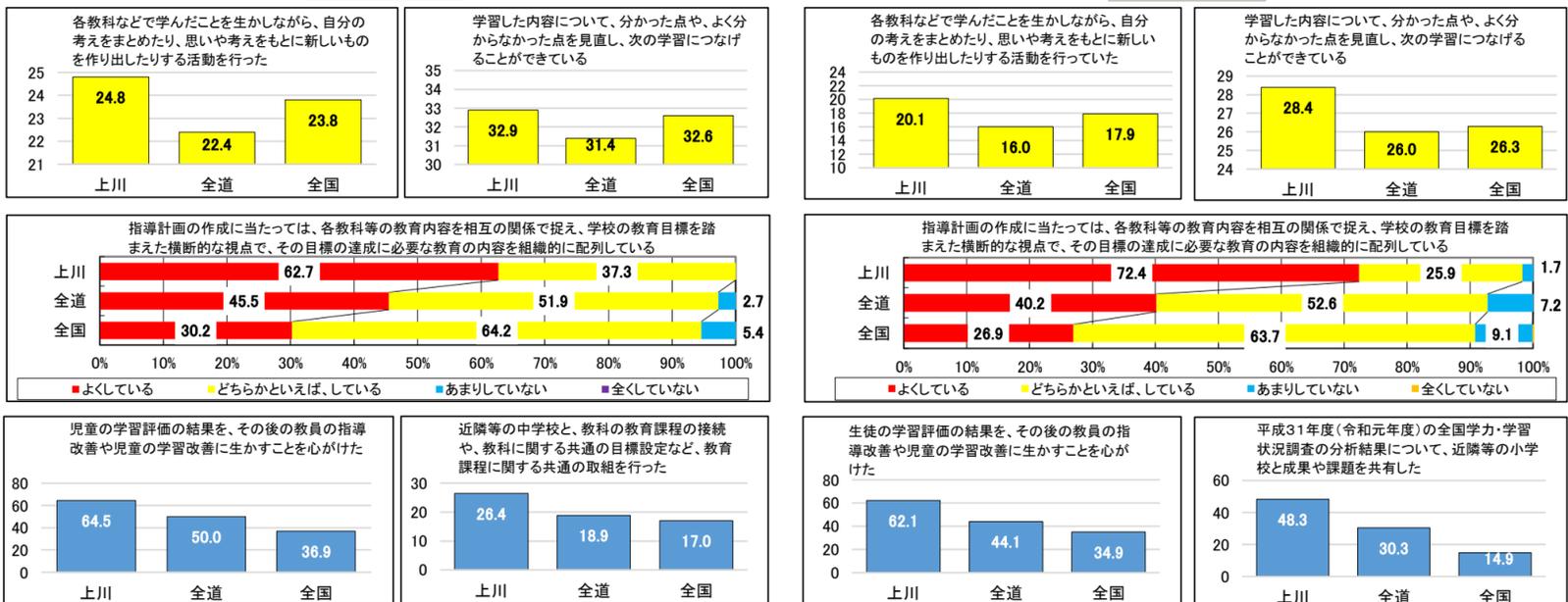
【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化



【質問紙の状況】

小学校

中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの学校で、指導計画の作成に当たり、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列したことにより、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行ったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内全体での研修や学校教育指導訪問において、学習評価の意義等について、説明を行ったことにより、多くの学校が児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけるようになり、児童は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるようになってきている。

学校段階間の連携を管内教育の重点とし、取組の充実を図ったことにより、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校が増えたと考えられる。

中学校

管内の多くの学校で、指導計画の作成に当たり、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列したことにより、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行ったと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内全体での研修や学校教育指導訪問において、学習評価の意義等について、説明を行ったことにより、多くの学校が生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけるようになり、生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるようになってきている。

学校段階間の連携を管内教育の重点とし、取組の充実を図ったことにより、平成31年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有し、改善を図ろうとする学校が増えたと考えられる。

【上川の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

上川管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 学校段階間の連携・接続の推進

- スタートカリキュラムを軸とした幼小連携の充実が図られ、円滑な接続につなげている学校が増えた。今後は、教育課程を軸とした小中連携の一層の充実を図る必要がある。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸とした幼小連携や教育課程の共通化に関する小中連携について、各学校の好事例の提供を図っていく。

(2) カリキュラム・マネジメントの効果的な推進

- 各種調査結果の分析、改善策は確立している。今後は、全教職員の共通理解に基づいた取組について、一層の充実を図る必要がある。
- 組織的な取組によって、教育内容の質の向上が図られるよう組織力強化会議での好事例の提供や学校経営訪問及び学校教育指導訪問において指導助言する。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現と組織的かつ計画的な学習評価の工夫

- 単元やまとまりを意識した授業改善及びICT機器の積極的な活用が図られるようになった。今後は、指導と評価の一体化を図る学習評価や1人1台端末を活用した授業改善の在り方について一層の理解を図り、実践の充実を図る必要がある。
- 目的や意図を明確にした単元レベルでの授業改善や授業と関連を図った家庭学習の充実、ICTの効果的な活用に加えて、学力下位層への組織的な働きかけ等、学校教育指導訪問において、情報提供や指導助言する。
- 指導と評価の一体化を図る学習評価の在り方について学校教育指導訪問等において「令和3年度教育課程編成の手引」等を活用して指導助言するとともに、各学校の要請に応じたSD派遣を実施する。

2. 具体的な取組

月	(1) 学校段階間の連携・接続の推進	(2) カリキュラム・マネジメントの効果的な推進	(3) 主体的・対話的で深い学びの実現と組織的かつ計画的な学習評価の工夫
10	学校経営訪問	第2回組織力強化会議 マネジメントシートの活用	学校教育指導訪問（要請訪問） 「授業改善推進チーム活用事業定例報告会」
11		小（中）学校教育課程編成協議会	
12			
1	局独自「フレッシュ教員指導力アップセミナー」		上川管内学力向上研修会
2			
3			

3. 取組の評価

(1) 学校段階間の連携・接続の推進

- ① 幼・小の接続
〈管内教育推進の重点 目標5 重点1〉
・現状 小…4.1
・目標 小…4.5
・達成値 年度末に評価
- ② 小・中学校の連携
〈管内教育推進の重点 目標5 重点1〉
・現状 小…3.9 中…3.9
・目標 小…4.5 中…4.5
・達成値 年度末に評価

(2) カリキュラム・マネジメントの効果的な推進

- ① カリキュラム・マネジメントの効果的な推進
〈管内教育推進の重点 目標1 重点1〉
・現状 小…4.5 中…4.4
・目標 小…4.7 中…4.6
・達成値 年度末に評価
- ② 年間標準授業時数の確保
・現状 全学校
・目標 全学校
・達成値 年度末に評価

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現と組織的かつ計画的な学習評価の工夫

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現
〈管内教育推進の重点 目標1 重点1〉
・現状 小…4.4 中…4.2
・目標 小…4.6 中…4.5
・達成値 年度末に評価
- ② 組織的・計画的な学習評価
〈管内教育推進の重点 目標1 重点1〉
・現状 小…4.2 中…4.1
・目標 小…4.5 中…4.5
・達成値 年度末に評価

4. 改善点

(1) 学校段階間の連携・接続の推進

- 学校経営指導訪問及び学校教育指導訪問において、各学校の状況について確認するとともに、他の好事例などを収集し、教育課程を軸とした小中連携の一層の充実を図る。
- 組織力強化会議において、小中連携の視点も含めて組織力向上の取組を推進するよう協議等を設定する。

(2) カリキュラム・マネジメントの効果的な推進

- 組織力強化会議や学校教育指導訪問、マネジメントシートの活用などを通して、教育効果を一層高める指導計画の充実・改善について指導助言する。
- 各種調査結果の分析、改善策は確立していることから、組織力強化会議において、全教職員の共通理解に基づいた取組について、一層の充実を図る。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現と組織的かつ計画的な学習評価の工夫

- 「学力向上研修会」「SD派遣」などの各学校の実態に応じた研修の充実を図る。
- 学校教育指導訪問、マネジメントシートの活用などを通して、指導と評価の一体化を図る学習評価や1人1台端末を活用した授業改善の在り方について、一層の理解及び実践の充実を図る。